

令和5年4月28日

**【サステナブルインパクト】株式会社 JERA へのシンジケートローン形式による  
 「トランジション・リンク・ローン」への参加について  
 ～当行初となるクライメート・トランジション・ファイナンスへの参加～**

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、「株式会社 J E R A」（東京都中央区）に対するシンジケートローン形式によるトランジション・リンク・ローン（総額 176 億円）に参加しましたので、お知らせします。

クライメート・トランジション・ファイナンスとは、脱炭素社会の実現に向けて長期的な戦略に則り、着実なGHG削減の取組みを行う企業に対して、その取組みを支援することを目的とした新しいファイナンス手法です。本ローンは、2021年5月に国際資本市場協会（ICMA）が策定した「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」に示される4つの要素を満たすとともに、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）らによって策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」に適合する「トランジション・リンク・ローン」となります。

株式会社 J E R A は、日本の電力量の約3割を発電する国内最大の発電事業者です。世界的な脱炭素化の流れが加速する中、国内外の事業から排出されるCO<sub>2</sub>をゼロとする「J E R A ゼロエミッション2050」を掲げ、再生可能エネルギーの開発・導入や、ゼロエミッション火力に向けた水素・アンモニア混焼への投資を積極的に行っています。また、トランジションファイナンスによる資金調達のために、「J E R A トランジション・ファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関となるDNV V ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社からトランジションファイナンス発行に係る各種基準への適合性について評価を受けています。

当行は、今後もESG金融の拡大に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

**【本トランジション・リンク・ローンの概要】**

組成額	合計 176 億円	
アレンジャー行	SBI 新生銀行	
参加金融機関	株式会社徳島大正銀行 他 都市銀行・地方銀行 8 行	
資金使途	事業資金	
借入人のトランジション戦略の概要	<b>【CO<sub>2</sub> 排出量削減に向けた長期目標】</b>	
	2030 年度	政府が示す 2030 年度の長期エネルギー需給見通しに基づく、国全体の火力発電からの排出原単位と比べて 20%減の実現
	2035 年度	国内事業からの CO <sub>2</sub> 排出量について 2013 年度比で 60%以上の削減を目指す
	2050 年	国内外の当社事業から排出される CO <sub>2</sub> をゼロとするゼロエミッションに挑戦する
本ローンの KPI 及び SPT の概要	<b>【脱炭素に向けたロードマップ】</b>	
	・借入人は CO <sub>2</sub> 排出量の大半を占める国内事業向けにトランジション経路を示した「JERA ゼロエミッション 2050 日本版ロードマップ」を策定し、施策となるゼロエミッション火力（非効率石炭火力停廃止、アンモニア・水素の混焼）、再生可能エネルギーに関するマイルストーンを示している。	
	CO <sub>2</sub> 排出量削減に係る 2030 年の中間目標を SPT に設定している。	
	KPI(指標)	JERA グループの国内事業における CO <sub>2</sub> 排出原単位 (Scope 1)
	SPT(目標)	政府が示す 2030 年度の長期エネルギー需給見通しに基づく国全体の火力発電からの排出原単位と比べて 20%減 (SPT 判定年度:2030 年度)

以上

※SDGs 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」  
 17 の目標と 169 のターゲットから構成される 2030 年までの世界共通目標のこと。  
 貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための  
 諸目標を達成すべく様々な取組みを行なっています。

